

## 山口県における特定感染症事業肝炎ウイルス検査におけるフォローアップ体制の構築

研究分担者：日高 勲 済生会山口総合病院 消化器内科  
 研究協力者：磯部 元胤、古谷 正洋、佐々木 泰司、五島 美沙子  
 山口県健康福祉部 健康増進課

**研究要旨：**現在、国を挙げて肝炎検査受検、受診促進の取り組みが実施されている。新規陽性者は減少傾向であるが、適切に医療機関を受診していない陽性患者が多く存在することが課題である。山口県でも県と拠点病院などが一体となり取り組みを実施、特定感染症事業における肝炎ウイルス検査の新規陽性者数は減少傾向であるが、検査陽性者に対するフォローアップはこれまで十分に行えていなかった。2019年4月に受診票の改定とフォローアップ体制の構築を行い、検査陽性者の受診確認が可能となった。さらに健康福祉センター担当者が受診確認を実施する際に、未受診者へ受診勧奨を行った結果、受診確認率は上昇した。特に、陽性判明後1年以内に受診勧奨を行った際には受診確認率は51.0%から1年後70.6%と上昇を認め、早期の受診勧奨の有効が示された。

### A. 研究目的

わが国には約350万人の肝炎ウイルスキャリア（B型肝炎、C型肝炎）がいると推定され、ウイルス肝炎は国民病であると記述されている（肝炎対策基本法前文）。ウイルス性肝炎の治療の進歩や国を挙げて肝炎検査受検、受診促進の取り組みが実施されており、肝炎ウイルス陽性者は減少傾向にあるが、いまだに自身の感染に気付いていない方や感染を知っていても医療機関を受診していない患者が多く存在すると推測されており、さらなる対策が求められている。

山口県では、行政と拠点病院等が連携して受検啓発活動を行うことで、特定感染症事業における肝炎無料検査の受検数が増加したことを先行研究「職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究」で報告したが、近年、新規陽性者は減少を認めている（図1）。検査陽性者に対しては、本県では以前より検査受検時にフォローアップ事業への同意取得を実施し、ほとんどの受検者より同意取得で

きていたが、肝炎ウイルス検査陽性者が適切に医療機関を受診しているかどうかは十分に把握できていなかった。そこで研究分担者と山口県担当で協議を行い、2019年に受診票を改定し、受検者はフォローアップ事業への同意を必須とした。さらにフォローアップ体制の見直しを行い、新たなフォローアップ体制を確立し、未受診者への受診勧奨も開始したので、受診状況の把握や受診勧奨の効果を検証する。

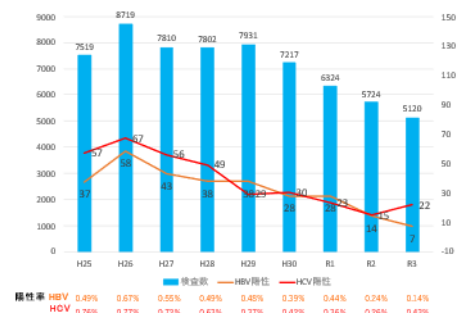


図1 特定感染症事業における肝炎ウイルス無料検査の検査数、陽性者数、陽性率の推移

### B. 研究方法

2019年4月、特定感染症事業による肝炎ウイルス無料検査の受診票の改定に加え、

新たなフォローアップ体制を確立した（図2）。具体的には、地域別の陽性者リストを県健康増進課より、各健康福祉センターに提供し、健康福祉センター実務担当者が地域の陽性者に聞き取りによる受診確認を行い、未受診者には直接受診勧奨を行うこととした。

聞き取り調査による受診確認状況を調査するとともに受診勧奨後の受診数の増加の有無について調査する。

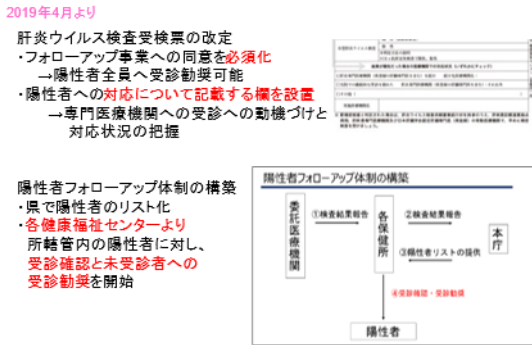


図2 特定感染症検査事業における受検票改定及びフォローアップ体制の構築

### C. 研究結果

フォローアップ事業への同意の必須化は2019年度からであるが、2018年度も陽性者のフォローアップ同意率は100%であったため、陽性者全員のフォローアップが可能であった。

2020年3月時点における受診確認率は、2018年度陽性者58.6%（34人/58人）、2019年度51.0%（26人/51人）であった。受診確認時に未受診者に受診勧奨を実施、1年後の2021年3月末時点における受診確認率2018年度陽性者58.6%、2019年度70.6%、2020年度51.7%であった。

陽性判明後1年以内に健康福祉センター担当者より受診勧奨を実施した2019年度陽性者で10人（HBs抗原陽性8人、HCV抗体陽性2人）の新規受診を認め、受診率が増加した（図3）。

2022年3月末時点での受診確認状況を図4に示すが、2021年度以降も受診確認と未受診者への受診勧奨を継続中であるが、健

康福祉センターが新型コロナウイルス感染症対応に追われたため、十分な対応はできなかった。

受診確認・未受診者への受診勧奨後1年の経過

	肝炎陽性者	受診者数	受診確認率
2018年度	58人	34人	58.6%
2019年度	51人	26人	51.0%

※2020年3月末時点

	肝炎陽性者	受診者数	受診確認率
2018年度	58人	34人	58.6%
2019年度	51人	36人	70.6%

※2021年3月末時点

2019年度に受診勧奨を実施  
陽性判明1年以内に受診勧奨を実施した2019年度陽性者で受診数増加

図3 受診勧奨後の受診率の推移

	陽性者数	follow up 同意数	同意率	受診確認数 (検査実施 事業時)	受診確認率	2021年3月末時点	
						受診確認数 (受診勧奨実施後)	受診確認率
HBV							
2018	28	28	100%	17	60.7%		
2019	28	28	100%	13	46.4%	21	75.0%
2020	14	14	100%	6	42.9%	6	42.9%
2021	7	7	100%				
HCV							
2018	30	30	100%	17	56.7%		
2019	23	23	100%	13	56.5%	15	65.2%
2020	15	15	100%	9	60.0%	9	60.0%
2021	22	22	100%				
合計							
2018	58	58	100%	34	58.6%		
2019	51	51	100%	26	51.0%	36	70.6%
2020	29	29	100%	15	51.7%	15	51.7%
2021	29	29	100%	9	31.0%		

図4 特定感染症事業における肝炎ウイルス検査陽性者の受診確認状況

### D. 考察

山口県では、以前より、特定感染症事業における肝炎ウイルス無料検査の受検啓発を積極的に行ってきたが、全国同様、近年新規陽性者は減少傾向である。

一方で、検査陽性者のその後の受診状況は十分に確認できていなかった。その要因として、保健所実施検査の受検数は少なく、ほとんどが委託医療機関（医師会へ委託、クリニック等で実施）による検査であったため、各地の健康福祉センターは地区の陽性者の把握が困難であったことがあげられる。2019年4月にフォローアップ体制を見直し、委託医療機関実施検査における陽性者に対しても、健康福祉センターから受診確認を行う体制を構築した結果、陽性者に対するフォローアップ率は100%となり、受診状況の把握が可能となった。

2020年度に受診確認を行った際には2018年度、2019年度の陽性者のうち、受診確認率はいずれも50%台であったが、受診確認の際に、未受診者に受診勧奨を実施した結果、1年後には受診確認率は増加を認め、受診率向上の有効な手法と考える。さらに陽性判明後1年以内に受診勧奨を行えた2019年度陽性者の受診確認率は2020年3月末51.0%から2021年3月末70.6%と上昇を認めており、早期受診勧奨が有効であることが示唆された。

2021年度以降も健康福祉センター担当者による受診確認、受診勧奨を継続する予定であったが、新型コロナウイルス感染患者への対応に追われたため、十分な対応が困難となった。肝炎ウイルス検査実施医療機関での適切な精密検査実施医療機関への受診促進やマンパワーに依存しないフォローアップシステムの構築が今後の課題と思われる。

## E. 結論

特定感染症事業における肝炎ウイルス検査の陽性者を県が統括する健康福祉センターが適切にフォローアップすることにより受診確認が可能であり、受診確認時に直接、未受診者への受診勧奨を実施することは受診率増加につながる。

## F. 政策提言および実務活動

### <研究活動に関連した実務活動>

山口県肝炎対策協議会委員として、研究成果を報告し、フォロー事業の継続の重要性を周知、肝炎検査陽性者の専門医受診向上へつなげた。また、初回精密検査費用助成の案内リーフレットを県と協力し作成、2021年に各職域の保険者、協会けんぽ、各市町村の妊婦健康診査担当課、産婦人科医療機関等の関係各所に送付するなど、県の肝炎に関する総合的な施策の推進活動に携わっている。

## G. 研究発表

### 1. 発表論文

○日高 勲、坂井田 勲 山口県における肝炎対策の現状 肝臓クリニカルアップデート 2020;6(2):277-280

### 2. 学会発表

○野村洋子、日高 勲、石丸 康隆、坂井田 功 県行政と拠点病院が連携した肝炎ウイルス無料検査陽性者フォローアップの取り組み 肝臓61 Suppl(1) A256, 2020

○磯部 元胤、日高 勲、大野 隆嗣、石丸康隆、坂井田 功 特定感染症事業における肝炎ウイルス検査受検啓発と陽性者フォローアップの取り組み 肝臓 62 Suppl(1) A228, 2021

### 3. その他

#### 啓発資料

なし

#### 啓発活動

日高 勲：講演「肝炎撲滅を目指した受検・受診・受療の取り組み～山口県肝疾患コーディネーターとともに～」

山口県肝炎医療コーディネーター研修会 2020年10月 Web配信 主催：日本肝臓学会、山口大学医学部附属病院肝疾患センター

日高 勲：講演「肝炎医療コーディネーターの役割」

令和2年度山口県肝疾患コーディネーター養成講習会 2020年11月15日 主催：山口県、山口大学医学部附属病院

日高 勲：講演「多職種で取り組む肝炎医療コーディネーター活動」

令和3年度第1回香川県肝炎医療コーディネーター養成研修会

2021年10月16日 主催：香川県

日高 勲：講演「ウイルス性肝炎に関する患者・家族指導に必要な知識を学ぼう」

令和3年度 山口県看護協会一般教育研修

2021年11月27日 主催：山口県看護協会  
日高 勲：講演「多職種協働で取り組む受  
検・受診・受療～山口県における肝炎対策  
11年の歩み～」  
令和3年度肝疾患研修会 2021年11月30日  
主催：山口大学医学部附属病院

#### **H. 知的財産権の出願・登録状況**

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし